

BIBFRAMEの新しいリンクトオープンデータエディタの使い方

新しいLODエディタに関連するその他のページについては、次を参照してください。：

- [BIBFRAMEオントロジー構造の背景情報](#)
- [AlmaがBIBFRAMEとBFLCオントロジーを使用してレコードを作成する方法](#)
- [新しいLODエディタ：概要とワークフロー](#)
- [BIBFRAMEレコードとテンプレートの作成と編集](#)
- [フィールド設定](#)
- [Almaルックアップサービス](#)

BIBFRAMEレコードとリンクトオープンデータエディタ（LODエディタ）で作業を行うには、次のいずれかの役割が必要です：

- 目録編集者
- 目録マネージャー
- 目録管理者
- 目録者(拡張)

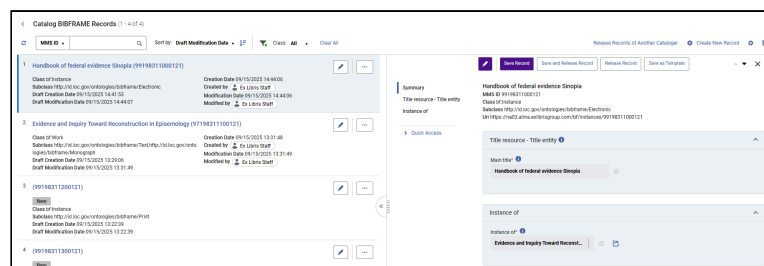
リンクトオープンデータエディタ（LODエディタ）の開き方

LODエディタが有効になっている場合、LODエディタを開くには **リソース > 目録作成**メニュー内に2つのメインエントリーポイントがあります：

- **目録BIBFRAMEレコード** — 作業中の作品レコードおよびインスタンスレコード、ならびに編集済みのレコードを含むLODエディタが開きます。
- **BIBFRAMEテンプレートの管理** — テンプレートの管理ページを開き、テンプレートを管理および作成します。

レコードは、**検索結果内**、または**目録BIBFRAMEレコード** 下書きページから編集できます。**作品**（**作品検索**）または**インスタンス**（**全タイトル検索**）を検索する際、**レコードの編集**を選択すると、スライド式パネルに下書きが開きます。下書きを保存して後で作業を続けるか、**変更**をすぐに保存してレコードに更新するかを選択できます。

リソースメニューからLODエディターを開くと、新しい作品レコードやインスタンスレコードを作成できるほか、さまざまな操作が可能です。



LODエディタ

レコードとテンプレートの管理に関する詳細については、[BIBFRAMEレコードとテンプレートの作成と編集](#)を参照してください。

エディタに関連する設定の別のエントリポイントは、[設定 > リソース > 目録作成 > メタデータ設定](#)です。リンクトデータの有効プロファイルセクションから、管理者は作品およびインスタンスのプロパティ（フィールド）のフィールド設定ページを表示できます。

Note

リンクは2つありますが、どちらも同じフィールド設定ページにリンクしています。詳細については、[フィールド設定](#)を参照してください。
